

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学11							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・夜間部	3年	3期	山中 直樹	○			
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
<p>上肢の軟部組織損傷は現場で遭遇することの多い外傷であります。外傷だけでなく、様々な原因で発症する部位でもあるので解剖からしっかりと理解をして鑑別できるように学んでいきます。</p>							
目標							
<p><b>一般目標 (GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標</p>	<p>柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為に、上肢に関わる総合的身体要素を把握し、臨床の場で遭遇することが多い上肢軟部組織損傷に対応できる力を身に着ける。</p>						
<p><b>到達目標 (SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上肢に関わる総合的な身体的要素を理解し、正しい答えを選ぶことができる。</li> <li>2. 評価に必要な他教科との関連性を理解し、正しい答えを選ぶことができる。</li> <li>3. 発生機序、症状、合併症等を理解し、正しい答えを選ぶことができる。</li> <li>4. 鑑別疾患について理解し、正しい答えを選ぶことができる。</li> </ol>						
履修に必要な予備知識や技能							
<p>すべての教科の基盤である解剖学、とくに骨格系や筋系の部分の予習復習を大事にしてください。</p>							
教科書・参考書							
教科書:『柔道整復学・理論編』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
<p>不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業で必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。</p>							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	上肢軟部組織損傷、身体的要素①			p.245-249	教科書・筆記用具		
第2回	上肢軟部組織損傷、身体的要素②			p.249-253	教科書・筆記用具		
第3回	上肢軟部組織損傷、身体的要素③			p.253-256	教科書・筆記用具		
第4回	上肢軟部組織損傷、身体的要素④			p.283-287	教科書・筆記用具		
第5回	上肢軟部組織損傷、身体的要素⑤			p.299-304	教科書・筆記用具		
第6回	上肢軟部組織損傷、身体的要素⑥			p.321-325	教科書・筆記用具		
第7回	上肢軟部組織損傷、身体的要素⑦			p.344-348	教科書・筆記用具		
第8回	上肢軟部組織損傷、身体的要素⑧			p.348-350	教科書・筆記用具		
第9回	(上肢軟部組織損傷、身体的要素⑨) まとめ			p.348-350	教科書・筆記用具		
第10回	定期試験				教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
<p>柔道整復師として接骨院に8年間勤務。また、鍼灸院を開業して12年の訪問診療等における実務経験をもとに上肢軟部組織損傷について話をします。</p>							
メールアドレス							
yamanaka@nihonisen.ac.jp							